

2005年4月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、カムチャッカ半島の南東の太平洋西部と西シベリアに負偏差、カナダのバフィン島付近を中心とした北米大陸北部に正偏差が見られたが、他では顕著な偏差は見られなかった。ヨーロッパから中央アジア、東アジアにかけてのユーラシア大陸中緯度帯では弱い正偏差となった。

熱帯の対流活動は、太平洋西部で平年より活発となった。また赤道収束帯 (ITCZ) は平年より南寄りの位置で活発となった。一方、インド洋赤道域からマレー半島、南シナ海にかけては平年より不活発だった。また太平洋中部から東部の赤道域の南半球側では平年より不活発だった。

850 hPa 流線関数および風ベクトルでは、太平洋ではフィリピンの東海上からソロモン諸島にかけては低気圧性循環偏差となったが、その他は南北両半球の広い範囲で高気圧性循環偏差が卓越し、太平洋赤道域の東西風は150°Eより東方で東風偏差となった。

SOI (南方振動指数) は-0.5となった。

世界の天候

① 日本から中国中部の高温・少雨

中国のシーアン (西安) では、月平均気温が19.0°C

となった (平年: 14.9°C)。

- ② 中央・西シベリアの多雨
- ③ インドネシアからインド東部の高温
- ④ ヨーロッパ北東部の少雨
- ⑤ ヨーロッパ南東部の多雨

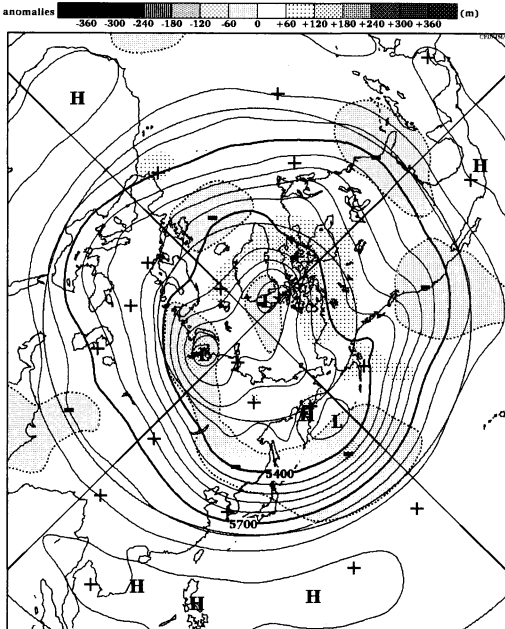
ルーマニアでは下旬に大雨による洪水が発生し、数千の家屋の破損、広大な農地の浸水、数千人の避難が報じられた。

ルーマニアのティミショアラでは、月降水量が154 mmとなった (平年: 49 mm)。

- ⑥ スペインからモロッコの少雨
- ⑦ アフリカ西部の高温
- ⑧ カナダ中部から米国中西部の高温
- ⑨ 中米から南米北部の高温
- ⑩ ミクロネシア南部からニューギニア島の多雨
- ⑪ オーストラリアの高温

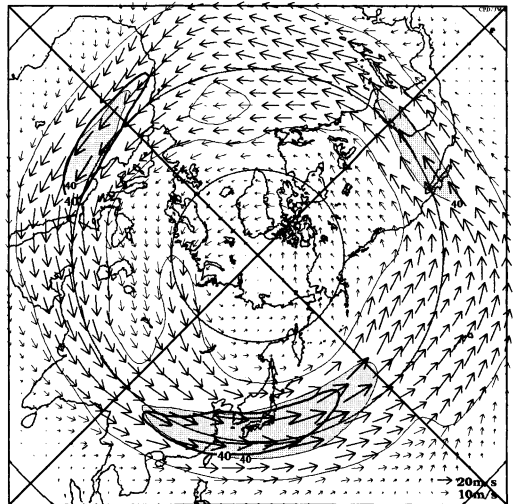
オーストラリアのアリススプリングスでは、月平均気温が24.7°Cとなった (平年: 20.0°C)。

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 久保池大輔)



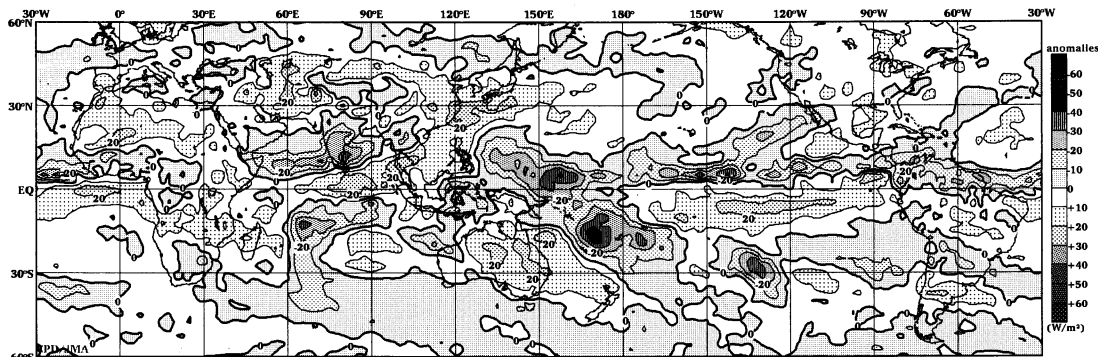
2005年4月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

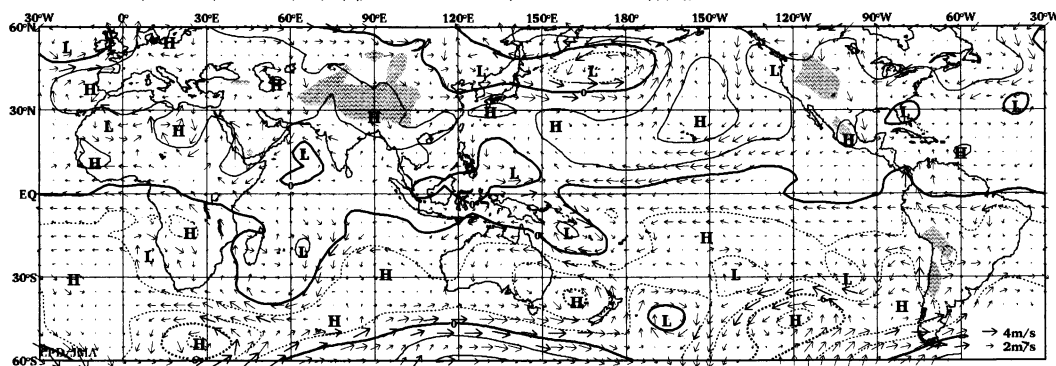


2005年4月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

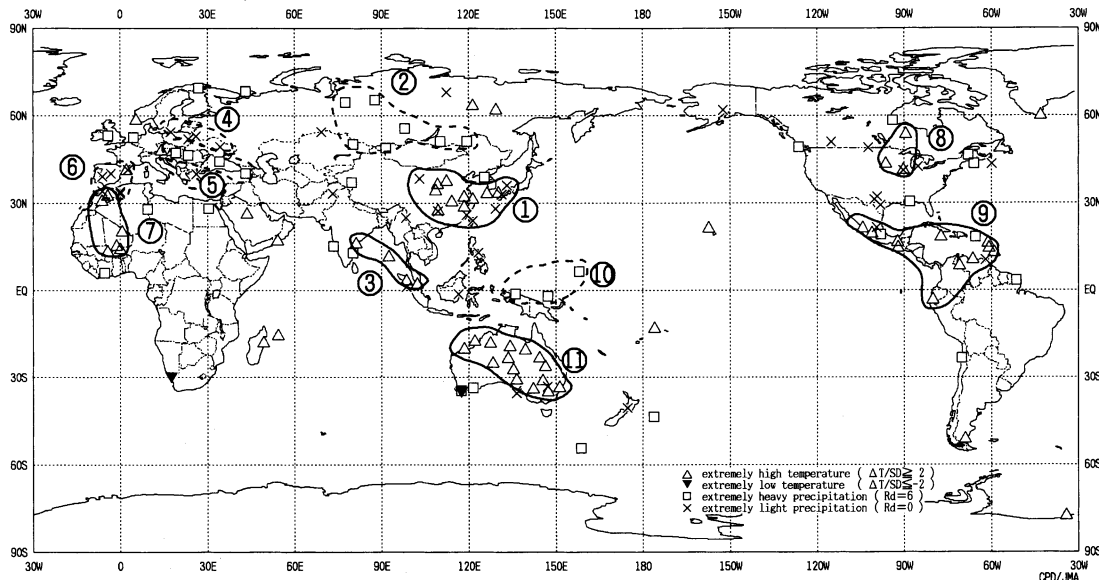
等値線間隔は20 m/s, 陰影部は40 m/s以上, 太実線で囲まれた領域は平年の40 m/s以上の領域を示す。平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2005年4月の月平均外向き長波放射量年偏差
 等値線間隔は 10 W/m^2 で、値が小さいほど対流活動が活発であったと推測される。元データはCPC/NCEP/NOAA、平年値は1979~2000年のデータから作成。



2005年4月の月平均850 hPa 流線関数年偏差及び風年偏差ベクトル
 流線関数の偏差の等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$ 、平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2005年4月の世界の異常天候分布図
 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上、異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0。図中の番号は本文中の番号と対応している。